

一般質問



藤原 正則 議員 (み・無)

長期基本計画の改訂について

① 今回の改訂にあたっての基本的な考え方は、① 具体的な進め方とスケジュールは、② 改訂後の重点課題は、③ 都区財政調整制度については、④ 区長は制度をどう評価しているのか、⑤ 特別区としてどう動き、都へ働きかけていくのか。

区長

① 基礎調査結果をもとに課題などを整理し、来年度には改訂版計画を取りまとめていく。② 厳しい財政見通しだ。③ 今後の検討課題とする。④ 一定の改革は実現したが、課題解決に向けた取り組みを進展させていく。⑤ 区の基本的な考え方を幅広くアピールする。

緊急経済対策について

① 区内中小企業の融資あつせん、動向や実績は、② 区は中小企業が何を求めているかを把握し、的確に対応できているのか、③ 区内にはコンビニとは違うミニスーパーなどが増えてきている。どういった特徴があり、区内に何店舗あるのか、④ 今後の商店街に対する支援の考え方や方法はないのか。

地域振興事業部長

① 平成24年度から経営安定化資金を新設した。8月までの申し込

を改善しているのか。② 高齢者住宅の今後の考え方は、健康福祉事業部長

健康福祉事業部長

① コミュニティも広がり、環境に馴染めない方にはスタッフが丁寧に対応している。今後も快適な生活空間を築いていく。② 見守り機能などを強化したこの住宅を先行モデルとし、今後の方向性を検討していく。

施設の更新期と有効利用について

① 区施設の今後の建て替えと有効利用の考え方は、② コミュニティにふらぎ八潮について、八潮という立地の中で利用率のアップが望めないと思うが、今後の他の利用についての展望は持っているのか。

今後の保育施策について

① 長期基本計画の改訂作業のために行う、人口動向の調査の内容とスケジュールは、② 少子化の波は必ずやってくることが待機児童のピークを超えた後の展開は、③ 保育園のあり方をどう考えるのか。

子ども未来事業部長

① 分折も含め、年度内には完了させ、できる限り早く議会に報告していく。② 調査を踏まえ検討していく。③ 関連3法に関する国や都の動向を注視しつつ、乳幼児教育の充実を図る方向で適切に対応する。

高齢者対策について

① 高齢者が住み慣れた地域で安心して生活するためには、住宅は重要な施策だ。6月に開設した大井町高齢者住宅に入居された方はどのような生活を送っているのか。区は入居者の声をどう捉え、課題

があり困難ではあるが、更なる連携強化を進める。

都区制度改革について

① 基礎的自治体として区が実施する清掃事業の評価は、② 清掃一部事務組合の経営改革プランや情報公開等の取り組み等への評価は、③ 区移管に伴う財産の取り扱いでは、無償譲渡の土地と建物には用途指定があるが、区内粗大ごみ中継場の効率的な活用を関係機関へ働きかけては、④ 23区全体の状況は、⑤ 水銀混入による清掃工場の停止について、⑥ 復旧の費用と負担は、⑦ 自己規制値は、⑧ 再発防止への抜本的な対策は、⑨ 都市環境事業部長

都市環境事業部長

① ごみの各戸収集等を実施した。これも区が移管を受けたからこそ実現できたものだ。② 効率的で、区民に開かれた運営を行っている。③ 都へ働きかけていく。④ 旧不燃ごみ中継施設の跡地を有する区は5区で、リサイクル関連施設等に利用していると聞いている。⑤ 平成23年度は3工場の停止があり、復旧に要した経費は150万円などだ。その財源は各区の分担金が充てられている。⑥ 1.1m当たり0.05mgで、水銀式体温計なら266本に相当する量だ。⑦ 各事業所への周知徹底など再発防止に取り組んでいる。

品川の魅力について

① 品川ブランドを売り込む意気込みは、② 五反田ふれあい水辺広場と天王洲運河の乗船施設等の整備事業の進み具合等は、③ 大森貝塚の範囲が品川区にほぼ特定された事を発信しては、④ 区指定文化財に居木神社の一刀彫宮神輿等を指定しては、⑤ 品川の魅力をどのようにPRしていくのか、⑥ 観光大使の任命の考え方は、⑦ 年間の区や地域の行事、予定などをわかりやすく一元化し、区民に周知しては、⑧ 地域振興事業部長

生活保護費の縮小について

① 歳出の縮小についての取り組みは、② 必要以上の通院だと思われるケースについては、③ ジェネリック医薬品の導入を徹底するべきでは、健康福祉事業部長

健康福祉事業部長

① 適正な受診指導や就労支援、資産把握のための金融機関本店等への一括照会などを行っている。② 通院日数が多い者を電子レセプトにより抽出し、通院回数や治療内容の適正化を行っている。③ 後発医薬品の利用状況を調査し、結果に基づいて、個別に説明をし使用促進に努めていく。

危機管理の心得について



本多 健信 議員 (自民)

① 情報処理体制の強化について、責任者が不在の場合等でも危機管理能力は一定であるべきでは、② 国等からの情報の伝達や受信について、24時間常駐にムラのない危機管理能力と、その直後の対応策は、③ 避難指示などの、緊急事態での命令口調の徹底への考え方は、④ 都は危機管理監に元陸上自衛隊師団長を充てた。区でもこうした人事を取り入れては、⑤ 都の第二建設事務所現場職員を、有事の際に区が実働指揮できないか。

区長

① 24時間いつでも事態に対処できる危機管理を区組織全体で徹底するため、管理職による危機管理宿直を配置している。情報入手後の対応は、速やかな情報伝達により、連絡調整を確実に行う体制をとっている。③ 状況に応じた適切な情報の伝達を行うよう徹底していく。④ 東京消防庁等から職員派遣を受けており、更なる連携の強化に努める。⑤ 都の職員にも役割

請願・陳情の審査結果(平成24年第3回定例会)

品川区議会議員あてに提出された請願・陳情について、審査結果をお知らせします。

Table with 4 columns: 付託委員会, 請願・陳情件名, 受理番号, 審査結果. Rows include 総務委員会, 厚生委員会, 文教委員会, 議会運営委員会, 行財政改革特別委員会.

※採 択(区議会として、ご希望に賛同します。) 趣旨採択(区議会として、ご希望の趣旨には賛同します。) 不採択(区議会としては、ご希望に賛同しかねます。) 継続審査(区議会として、引き続き慎重に審査します。)